

# 【第1回】財務会計

---

GBC Program : 本間正史

Oct. 14<sup>th</sup>, 2023

---



# 本日のアジェンダ

(19:00 - 20:30)

- ・ 自己紹介
- ・ なぜ財務会計を学ぶのか
- ・ 事前課題の解説
- ・ 財務 3 表の見方  
(損益計算書 Profit & Loss Statement, 貸借対照表 Balance Sheet & キャッシュフロー計算書 Cashflow)
- ・ **【事例】 企業の財務諸表例** - 日産自動車の事例
- ・ グループ課題について

## グローバルキャリア構築のトータルサポーター

### 氏名

本間正史（まさ）

### 海外勤務歴

約7年(エジプト、サウジアラビア、UAE、北米、南アフリカ)

### 専門

マーケティング、ビジネス企画、異文化理解

### 資格・学歴

経営学修士(MBA)、英検1級、TOEIC 925、簿記2級、ウェブマーケティング検定、ほか7つ保有

### Profile

1986年パリ生まれ。青山学院大学経済学部卒、ieビジネススクール経営学修士(MBA)。大学卒業後、大手家電メーカーに就職。入社3年目にエジプト、サウジアラビアで2年間の業務研修を受けた後、ビジネス企画職としてUAEに2年半駐在。その後、日本のグローバル自動車メーカーに転職。米国に6か月プロジェクト派遣された後、現在南アフリカのアフリカ事業統括会社においてマーケティング部長を務める。

# 本間正史とは？

高校

大学

SHARP

シャープ



日産自動車

栃木の葛生高校にて。



~17歳

高校は野球推薦。  
寮生活で、  
海外経験ゼロ。

英字新聞編集委員会



~23歳

一念発起して大学受験。  
一浪して青山学院へ。

国際ボランティア活動。  
同時に英語学習を、  
4年間毎日継続する。



SHARP MiddleEastにて

~25歳

シャープに入社。  
閑散部に配属され、  
空き時間に資格10個取得。

簿記2級、  
中小企業診断士の  
一次合格。



GRID第1期生と人事



エジプトにて

~29歳

海外人材育成研修GRIDへ  
最年少で選抜（2年目）  
・1年：Egypt(アラビア語)  
・1年：KSA(事務所立ち上げ)  
3年目からはUAEで海外外駐在。  
中東アフリカ液晶事業統括へ抜擢。



中国の取引先にて

~33歳

日産自動車へ転職。  
AMIマーケティング担当、  
一番下の役職から。  
3年目に北米へ派遣。

NTTの軟式野球部へ。  
東京都1部にて、  
ベスト8を2回。



都大会 vs. 東芝戦

~現在

6年で3回昇格しマネジメント。  
幹部育成プログラム”JBLP”。

南アフリカへ駐在し、  
世界ランク7位  
ieビジネススクールで  
オンラインEMBAを取得。



担当で愛車の日産Navara



# なぜ財務会計を学ぶのか？

# 財務(Finance)と会計(Accounting)の違い

## 財務

(Finance)

財務は経理によって作成された財務諸表をもとに資金計画を立てて、実際に資金を調達し運用していくこと

### 資金調達

銀行や投資家などとの交渉など

### 資金計画

調達した資金をどう使うか（設備投資やM&Aなど）

### 予算管理

資金計画の管理

## 会計

(Accounting)

企業や公的機関などが、事業の収支、財政状態などのお金の流れを記録し、その結果明らかになった財政状態などを利害関係者に報告すること

### 財務会計

財務3表を作成して、提出（所定フォーマットあり）

### 管理会計

企業自身の経営状況を把握し、次のアクションを決める

### 経理

日々のお金の管理。出入金、記録など。

# 決算書の開示義務

金融商品取引法により、**上場企業には決算を開示する義務があります。**  
未上場の株式会社でも、**会社法上の大会社に該当する場合、  
貸借対照表と損益計算書の開示が義務づけられています。**  
なお、大会社とは資本金が5億円以上もしくは負債の合計額が  
200億円以上の株式会社

## 決算書：

貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、  
キャッシュフロー計算書、個別注記表

## To：

税務署、（株主、債権者）

# 財務会計はなぜ学ぶ必要があるの？メリット6つ

- ① **会計系の取得は就職、転職活動でかなり有利**  
(e.g. 公認会計士、税理士、簿記、USCPAなど)
- ② **仕事で使える** (部署に関わらず、管理職以上では必須)
- ③ **会社の経営状態を自分で判断できる** (転職時)
- ④ **会社の戦略を理解できる** (転職時、自社の健康状態把握)
- ⑤ **起業や副業、家計に活かせる**
- ⑥ **MBAや中小企業診断士などの資格で必須科目** (楽になる)



# 財務会計の目標

財務会計のプロは目指しません。  
いち担当者として、会社の経営状況を把握・分析し、  
必要なアクションを考えることができるようになる。

最終的には・・・

- ・自分で企業を分析し健康状態、将来性を判断できる
- ・財務会計部署とHigh levelな財務状況の話ができる
  - ・個人ビジネスの目標を立てることができる

# 財務三表の見方

- **損益計算書** (Profit & Loss statement)
- **貸借対照表** (Balance Sheet)
- **キャッシュフロー計算書** (Cashflow statement)



# 損益計算書

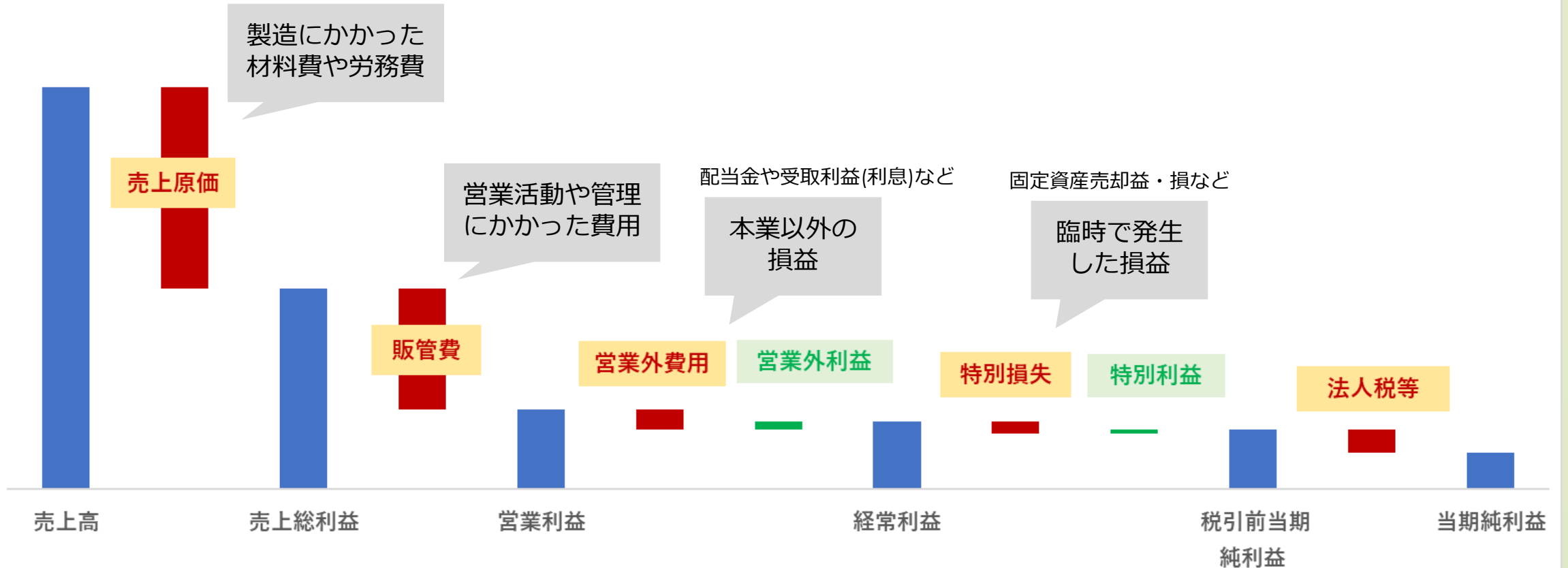
(Profit & Loss statement)

# 損益計算書 (Profit & Loss statement: P/L)

## 会社の成績表

営業利益=本業の成績と一般的には見られている

### 損益計算書の仕組み



# 損益計算書 (Profit & Loss statement: P/L)

## キーエンス2022年度P/L

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年 3月21日 至 2021年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年 3月21日 至 2022年12月20日)
売上高	545,332	680,618
売上原価	95,202	123,411
売上総利益	450,130	557,206
販売費及び一般管理費	147,719	188,175
営業利益	302,411	369,031
営業外収益		
受取利息	412	1,139
持分法による投資利益	3,734	4,210
為替差益	2,202	5,116
雑収入	1,214	932
営業外収益合計	7,563	11,399
営業外費用		
雑損失	126	136
営業外費用合計	126	136
経常利益	309,848	380,294
税金等調整前四半期純利益	309,848	380,294
法人税等	91,443	112,271
四半期純利益	218,405	268,022
親会社株主に帰属する四半期純利益	218,405	268,022

キーエンスは  
高収益、高成長企業。  
収益構造は  
コンサルと同じ。

売上高の成長率が  
前年同期比+25%!

50%+ vs. 売上

驚異の、

50%超えの営業利益!  
(メーカーで2桁でも優秀)

売上原価よりも、  
販管費が大きい!  
平均年収が、  
2,200万円超。

# 損益計算書 (Profit & Loss statement: P/L)

## Amazon CY2022

AMAZON.COM, INC.  
Consolidated Statements of Operations  
(in millions, except per share data)  
(unaudited)

	Three Months Ended December 31,		Twelve Months Ended December 31,	
	2021	2022	2021	2022
Net product sales	\$ 71,416	\$ 70,531	\$ 241,787	\$ 242,901
Net service sales	65,996	78,673	228,035	271,082
Total net sales	137,412	149,204	469,822	513,983
Operating expenses:				
Cost of sales	82,835	85,640	272,344	288,831
Fulfillment	22,445	23,103	75,111	84,299
Technology and content	15,313	20,814	56,052	73,213
Sales and marketing	10,810	12,818	32,551	42,238
General and administrative	2,525	3,333	8,823	11,891
Other operating expense (income), net	24	759	62	1,263
Total operating expenses	133,952	146,467	444,943	501,735
Operating income	3,460	2,737	24,879	12,248
Interest income	118	445	448	989
Interest expense	(482)	(694)	(1,809)	(2,367)
Other income (expense), net	11,838	(3,450)	14,633	(16,806)
Total non-operating income (expense)	11,474	(3,699)	13,272	(18,184)
Income (loss) before income taxes	14,934	(962)	38,151	(5,936)
Benefit (provision) for income taxes	(612)	1,227	(4,791)	3,217
Equity-method investment activity, net of tax	1	13	4	(3)
Net income (loss)	\$ 14,323	\$ 278	\$ 33,364	\$ (2,722)
Basic earnings per share	\$ 1.41	\$ 0.03	\$ 3.30	\$ (0.27)
Diluted earnings per share	\$ 1.39	\$ 0.03	\$ 3.24	\$ (0.27)
Weighted-average shares used in computation of earnings per share:				
Basic	10,157	10,220	10,117	10,189
Diluted	10,324	10,308	10,296	10,189

### <English terms>

総売上高

Gross sales

売上総原価

GOGS (Cost of Goods Sold)

販管費

SGA (Selling, general & Administrative expenses)

営業利益

Operating income

営業外収益(費用)

Non operating income (Expense)

経常利益(損失)

Ordinary Income (Loss)

税引前当期純利益(損失)

Income(loss) before income taxes

当期純利益(損失)

Net income(loss)

### AMAZON.COM, INC. Consolidated Statements of Comprehensive Income (Loss) (in millions) (unaudited)

	Three Months Ended December 31,		Twelve Months Ended December 31,	
	2021	2022	2021	2022
Net income (loss)	\$ 14,323	\$ 278	\$ 33,364	\$ (2,722)
Other comprehensive income (loss):				
Foreign currency translation adjustments, net of tax of \$12, \$(36), \$47, and \$100	(67)	2,075	(819)	(2,586)
Net change in unrealized gains (losses) on available-for-sale debt securities:				
Unrealized gains (losses), net of tax of \$41, \$162, \$72, and \$159	(234)	272	(343)	(823)
Reclassification adjustment for losses (gains) included in "Other income (expense), net," net of tax of \$0, \$0, \$13, and \$0	—	281	(34)	298
Net unrealized gains (losses) on available-for-sale debt securities	(234)	553	(377)	(525)
Total other comprehensive income (loss)	(301)	2,628	(1,196)	(3,111)
Comprehensive income (loss)	\$ 14,022	\$ 2,906	\$ 32,168	\$ (5,833)



# 貸借対照表

(Balance Sheet)

# 貸借対照表 (Balance Sheet: BS)

## 貸借対照表は会社の健康状態

### 現在の手元資産

→ 事業運営に利用している資産

決算から **1年以内** に現金化  
ができるもの



決算から **1年以上**、長期保  
有するもの



### 貸借対照表

(単位: 千円)

資 産		負 債	
流動資産	〇〇〇	流動負債	〇〇〇
現金預金	〇〇〇	支払手形	〇〇〇
受取手形	〇〇〇	買掛金	〇〇〇
売掛金	〇〇〇	短期借入金	〇〇〇
有価証券	〇〇〇	固定負債	〇〇〇
商 品	〇〇〇	長期借入金	〇〇〇
固定資産	〇〇〇	社 債	〇〇〇
土 地	〇〇〇	純 資 産	
建 物	〇〇〇	資 本 金	〇〇〇
機 械	〇〇〇	利益剰余金	〇〇〇
合 計	〇〇〇	合 計	〇〇〇

### 手元資産の調達手段

決算から **1年以内** に決済する  
義務があるもの

決算から **1年を超えて**返済  
していく負債。

返済の義務がないもので、  
自己資本と呼ばれる。  
株主の出資や過去の利益の  
合計。

合計は必ず一致 (Balance) する



# 貸借対照表 (Balance Sheet: BS)

## キーエンス2022年度BS

### 1【四半期連結財務諸表】

#### (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月20日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	464,296	424,998
受取手形及び売掛金	247,901	283,733
有価証券	540,276	556,796
棚卸資産	62,072	92,207
その他	8,561	14,387
貸倒引当金	△538	△724
流動資産合計	1,322,569	1,371,399
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	26,382	31,242
無形固定資産	3,538	3,538
投資その他の資産	939,745	1,073,228
投資有価証券	14,227	15,793
長期性預金	17,655	22,588
その他	△61	△61
貸倒引当金	971,569	1,111,548
投資その他の資産合計	1,001,467	1,146,329
固定資産合計	1,001,467	1,146,329
資産合計	2,324,037	2,517,729

メーカーの中では  
かなり少ない！

キーエンスって低借金企業！  
自前で稼いでいる。

キーエンスってファブレス企業！

開発のみを行っているため、固定資産が少ない。

### 1【四半期連結財務諸表】

#### (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月20日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	15,911	21,225
未払法人税等	89,667	47,432
賞与引当金	14,360	13,334
その他	26,613	34,846
流動負債合計	146,552	116,838
固定負債	3,901	4,874
負債合計	150,453	121,713
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	30,637	30,637
資本剰余金	30,541	30,541
利益剰余金	2,101,779	2,308,874
自己株式	△3,785	△3,794
株主資本合計	2,159,171	2,366,258
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他の有価証券評価差額金	3,428	826
為替換算調整勘定	10,986	28,934
退職給付に係る調整累計額	△3	△2
その他の包括利益累計額合計	14,411	29,758
純資産合計	2,173,583	2,396,016
負債純資産合計	2,324,037	2,517,729

銀行からの「借入」がない！

合計は必ず一致(Balance)する

# 貸借対照表 (Balance Sheet: BS)

Amazon CY2022

AMAZON.COM, INC.  
Consolidated Balance Sheets  
(in millions, except per share data)  
(unaudited)

	December 31, 2021	December 31, 2022
<b>ASSETS</b>		
Current assets:		
Cash and cash equivalents	\$ 36,220	\$ 53,888
Marketable securities	59,829	16,138
Inventories	32,640	34,405
Accounts receivable, net and other	32,891	42,360
Total current assets	161,580	146,791
Property and equipment, net	160,281	186,715
Operating leases	56,082	66,123
Goodwill	15,371	20,288
Other assets	27,235	42,758
Total assets	\$ 420,549	\$ 462,675
<b>LIABILITIES AND STOCKHOLDERS' EQUITY</b>		
Current liabilities:		
Accounts payable	\$ 78,664	\$ 79,600
Accrued expenses and other	51,775	62,566
Unearned revenue	11,827	13,227
Total current liabilities	142,266	155,393
Long-term lease liabilities	67,651	72,968
Long-term debt	48,744	67,150
Other long-term liabilities	23,643	21,121
Commitments and contingencies		
Stockholders' equity:		
Preferred stock (\$0.01 par value; 500 shares authorized; no shares issued or outstanding)	—	—
Common stock (\$0.01 par value; 100,000 shares authorized; 10,644 and 10,757 shares issued; 10,175 and 10,242 shares outstanding)	106	108
Treasury stock, at cost	(1,837)	(7,837)
Additional paid-in capital	55,437	75,066
Accumulated other comprehensive income (loss)	(1,376)	(4,487)
Retained earnings	85,915	83,193
Total stockholders' equity	138,245	146,043
Total liabilities and stockholders' equity	\$ 420,549	\$ 462,675

## <English terms>

資産

Assets

流動資産

Current Assets

固定資産

Non-current assets

有形固定資産

Property, plant and equipment

無形固定資産

Intangible assets

負債

Liabilities

流動負債

Current liabilities

固定負債

Non-current liabilities

純資産

Net assets

Total amount always matches



# キャッシュフロー計算書

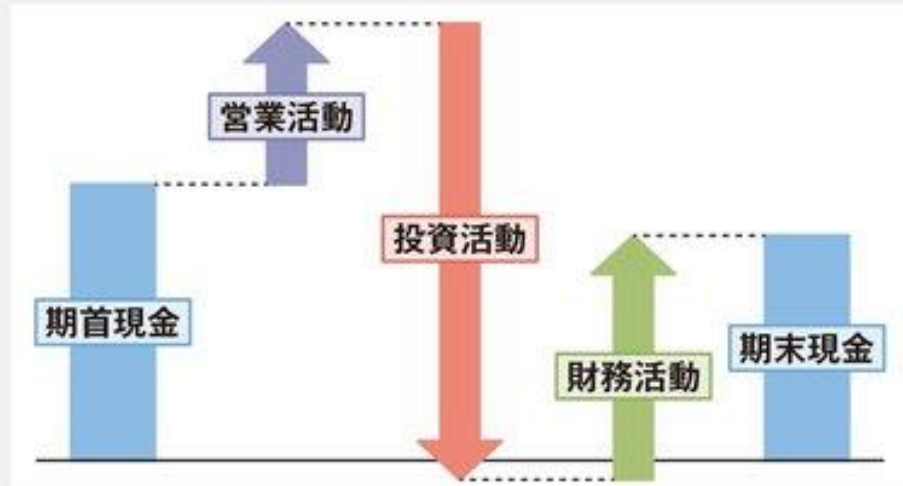
(Cashflow statement)

# キャッシュフロー計算書 (Cashflow)

## キャッシュフロー計算書は、会社の血液の流れ

### キャッシュフロー計算書とは

現金がどの程度増減したか？  
活動別に表したもの



	↑ プラス	↓ マイナス
営業活動	本業で資金を獲得	本業で資金が流出
投資活動	設備や株を売却	設備や株へ投資
財務活動	資金を調達	返済

### 営業活動によるキャッシュフロー

本業によるキャッシュフローの増減。  
マイナスの場合、資産を売却したり、資金調達により補う必要がある。計算の起点は、当期純利益。

### 投資活動によるキャッシュフロー

将来の利益、事業拡大のための投資活動。設備投資など。  
数値がマイナスだと、将来への投資をしていると見える。

### 財務活動によるキャッシュフロー

資金調達の返済や借り入れの状況が理解できる。  
プラスということは資金を調達したことになるが、同時に利息の支払いや将来の返済義務もある。

# キャッシュフロー計算書 (Cashflow)

## キャッシュフローが会社経営で最も大切

### 【理由】

**不渡り手形を6カ月間で2回出すと、  
銀行との取引が停止となる。  
そして事実上の倒産となるため。  
(黒字倒産のケース)**

海外では、まずキャッシュフロー計算書。

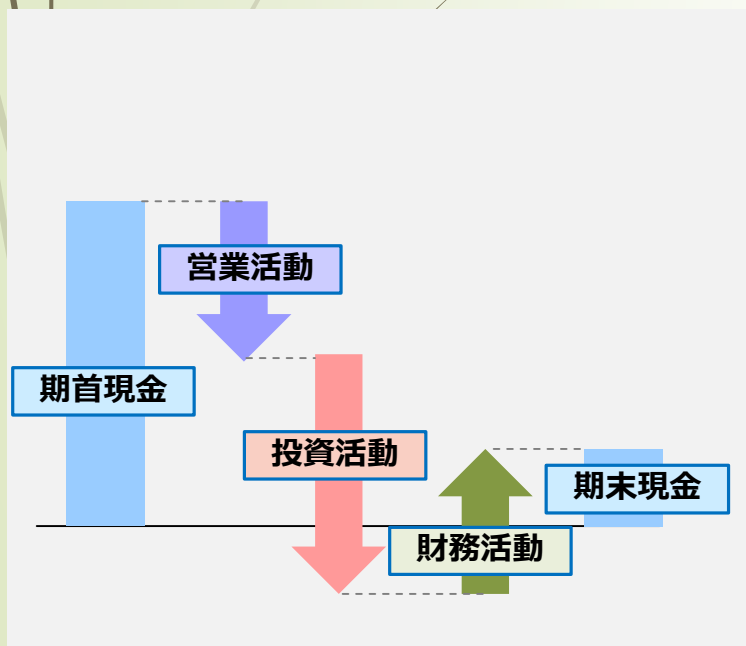
# キャッシュフロー計算書 (Cashflow)

## 企業の成長各段階のキャッシュフロー状況

創業期

営業・投資活動のマイナスを、  
財務活動で補う。

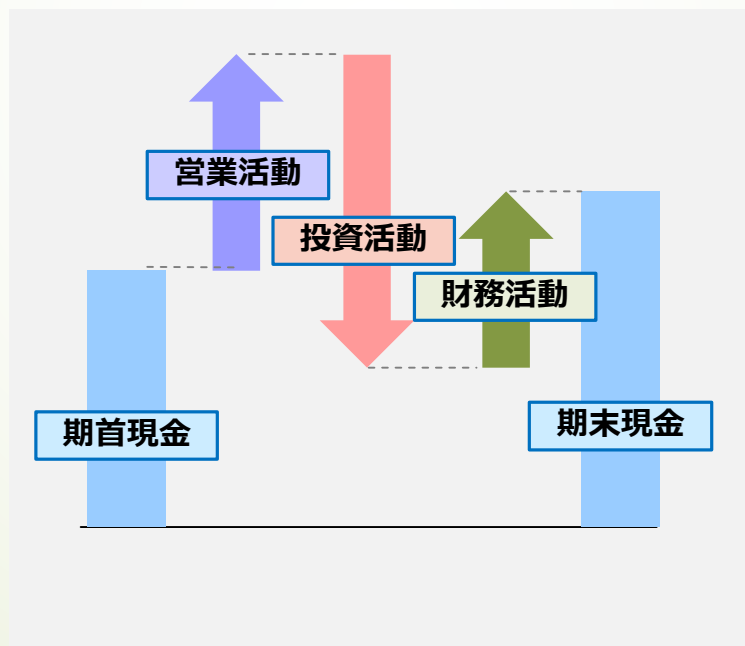
- - +



成長期

事業が軌道にのり、営業活動が+。  
一方、投資活動は継続し、更なる  
事業活動の拡大がキーとなる。

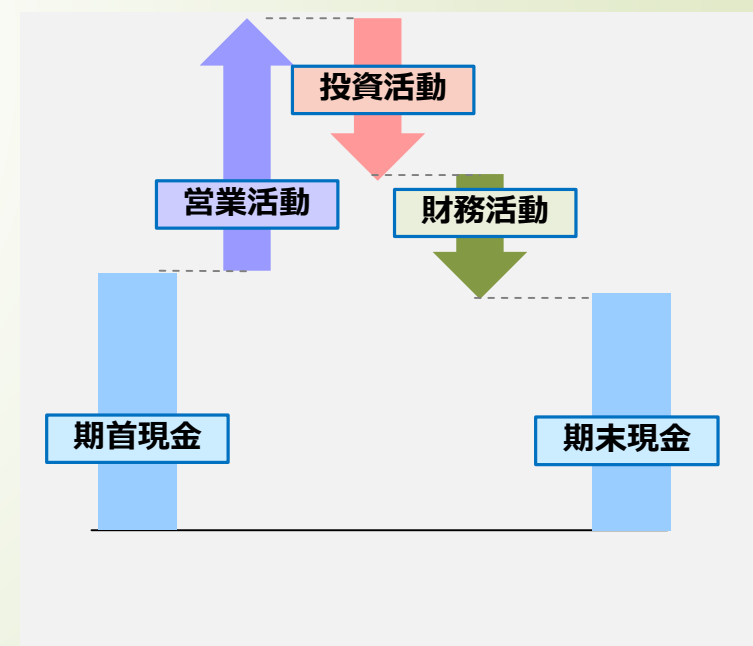
+ - +



成熟期

本業で儲けたキャッシュを、  
投資活動に回し、更に過去の  
借金の返済を行う。

+ - -



# キャッシュフロー計算書 (Cashflow)

## Amazon CY2022

AMAZON.COM, INC.  
Consolidated Statements of Cash Flows  
(in millions)  
(unaudited)

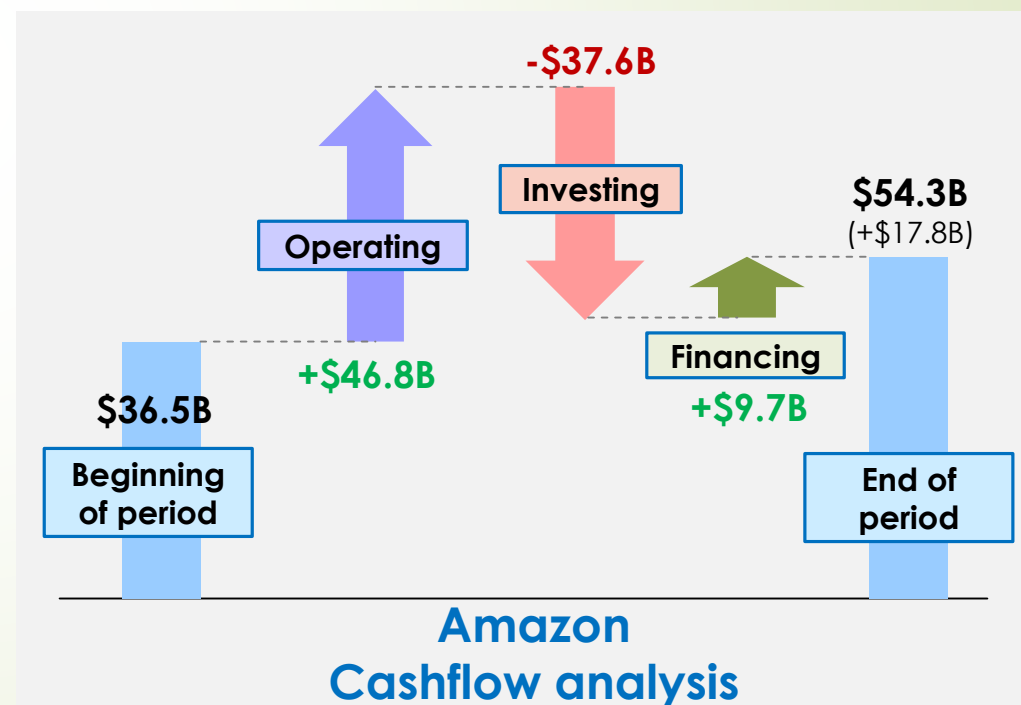
	Three Months Ended December 31,		Twelve Months Ended December 31,	
	2021	2022	2021	2022
CASH, CASH EQUIVALENTS, AND RESTRICTED CASH, BEGINNING OF PERIOD	\$ 30,177	\$ 35,178	\$ 42,377	\$ 36,477
<b>OPERATING ACTIVITIES:</b>				
Net income (loss)	14,323	278	33,364	(2,722)
Adjustments to reconcile net income (loss) to net cash from operating activities:				
Depreciation and amortization of property and equipment and capitalized content costs, operating lease assets, and other	9,867	12,685	34,433	41,921
Stock-based compensation	3,680	5,606	12,757	19,621
Other expense (income), net	(11,932)	3,445	(14,306)	16,966
Deferred income taxes	(3,623)	(3,367)	(310)	(8,148)
Changes in operating assets and liabilities:				
Inventories	(1,915)	3,180	(9,487)	(2,592)
Accounts receivable, net and other	(6,556)	(8,788)	(18,163)	(21,897)
Accounts payable	7,989	9,852	3,602	2,945
Accrued expenses and other	9,333	5,777	2,123	(1,558)
Unearned revenue	920	505	2,314	2,216
Net cash provided by (used in) operating activities	22,086	29,173	46,327	46,752
<b>INVESTING ACTIVITIES:</b>				
Purchases of property and equipment	(18,935)	(16,592)	(61,053)	(63,645)
Proceeds from property and equipment sales and incentives	2,465	1,152	5,657	5,324
Acquisitions, net of cash acquired, and other	(381)	(831)	(1,985)	(8,316)
Sales and maturities of marketable securities	12,537	5,683	59,384	31,601
Purchases of marketable securities	(8,266)	(233)	(60,157)	(2,565)
Net cash provided by (used in) investing activities	(12,580)	(10,821)	(58,154)	(37,601)
<b>FINANCING ACTIVITIES:</b>				
Common stock repurchased	—	—	—	(6,000)
Proceeds from short-term debt, and other	2,667	10,607	7,956	41,553
Repayments of short-term debt, and other	(2,659)	(15,797)	(7,753)	(37,554)
Proceeds from long-term debt	200	8,235	19,003	21,166
Repayments of long-term debt	(1,001)	(1,257)	(1,590)	(1,258)
Principal repayments of finance leases	(2,260)	(1,640)	(11,163)	(7,941)
Principal repayments of financing obligations	(47)	(62)	(162)	(248)
Net cash provided by (used in) financing activities	(3,100)	86	6,291	9,718
Foreign currency effect on cash, cash equivalents, and restricted cash	(106)	637	(364)	(1,093)
Net increase (decrease) in cash, cash equivalents, and restricted cash	6,300	19,075	(5,900)	17,776
CASH, CASH EQUIVALENTS, AND RESTRICTED CASH, END OF PERIOD	\$ 36,477	\$ 54,253	\$ 36,477	\$ 54,253

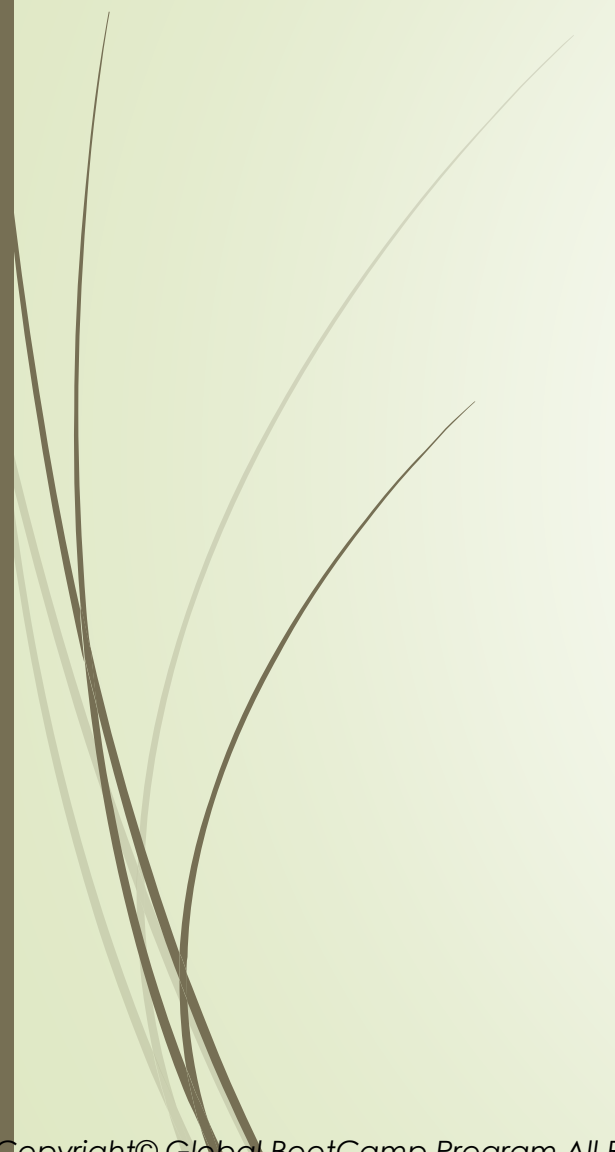
### <English terms>

営業活動  
投資活動  
財務活動

Operating activities  
Investing activities  
Financing activities

Amazonは成長期！





# 財務三表の企業事例

## (日産自動車)





# 損益計算書 ; 企業の成長度チェック (日産自動車)

# 損益計算書 (Profit & Loss statement: P/L) - 日産自動車 2022年度

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

	(単位: 百万円)	
	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	8,424,585	10,596,695
売上原価	7,070,531	8,882,846
売上総利益	1,354,054	1,713,849
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	247,552	283,505
サービス保証料	72,184	94,364
製品保証引当金繰入額	97,274	119,269
販売諸費	68,759	92,602
給料及び手当	393,877	436,403
退職給付費用	7,990	12,247
消耗品費	1,481	1,955
減価償却費	56,368	58,348
貸倒引当金繰入額	△42,490	6,023
のれん償却額	1,022	1,320
その他	202,730	230,704
販売費及び一般管理費合計	1,106,747	1,336,740
営業利益	247,307	377,109
営業外収益		
受取利息	16,952	39,276
受取配当金	3,005	83
持分法による投資利益	94,302	171,275
デリバティブ収益	14,533	43,392
雑収入	19,260	26,564
営業外収益合計	148,052	280,590
営業外費用		
支払利息	55,949	63,045
為替差損	8,900	51,948
雑支出	24,393	27,263
営業外費用合計	89,242	142,256
経常利益	306,117	515,443

## <鉄則>

大きい数字から注目する!

- ①まずは、売上・収益・費用を確認する。
- ②次に、項目別に大きい数字を確認する。
- ③気になる情報を、決算資料から調べる。

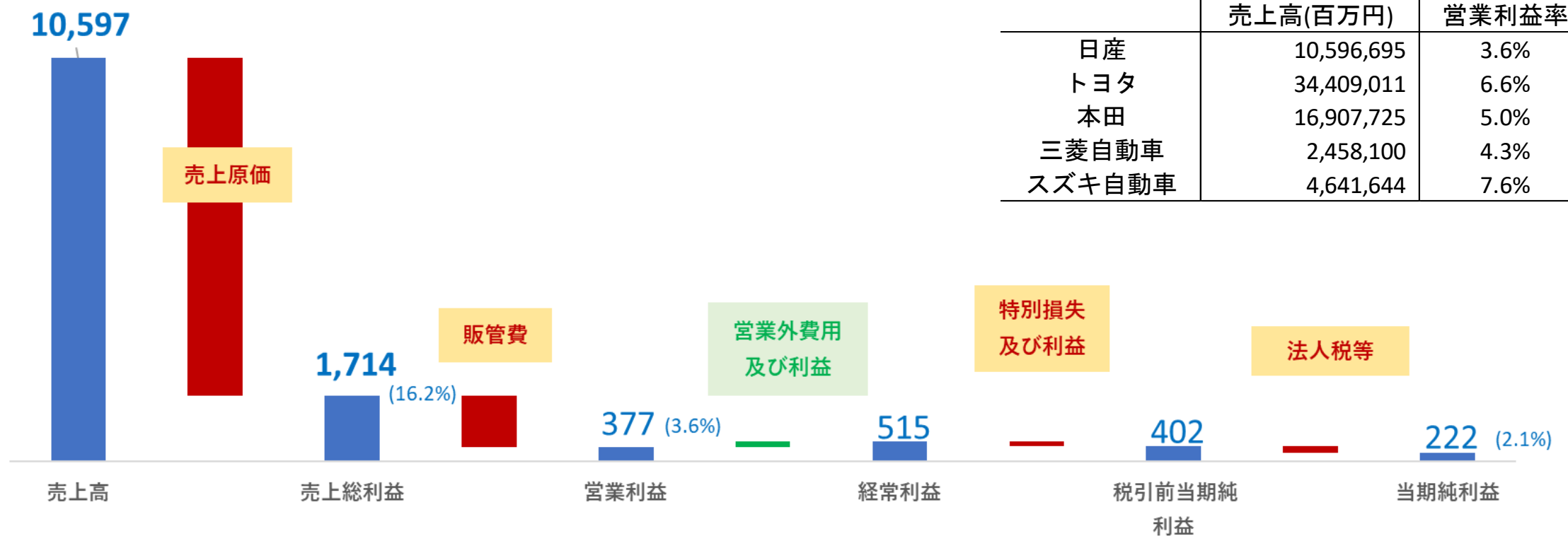
	(単位: 百万円)	
	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	34,471	22,992
支払補償費戻入額	10,314	8,193
その他	89,218	7,680
特別利益合計	134,003	38,865
特別損失		
固定資産売却損	4,004	5,793
固定資産廃棄損	14,463	15,115
減損損失	16,973	8,615
関係会社株式売却損	1,822	45,620
債権譲渡損	—	40,806
支払補償費	6,530	21,151
その他	12,118	14,772
特別損失合計	55,910	151,872
税金等調整前当期純利益	384,210	402,436
法人税、住民税及び事業税	79,979	196,619
法人税等調整額	65,461	△35,382
法人税等合計	145,440	161,237
当期純利益	238,770	241,199
非支配株主に帰属する当期純利益	23,237	19,299
親会社株主に帰属する当期純利益	215,533	221,900

# 損益計算書 (Profit & Loss statement: P/L) - 日産自動車 2022年度

日系自動車メーカーの収益構造はほぼ同じ。原価や販管費を下げるのが至上命題。台数が多いとコストが下がるため、台数を追う。収益の多様化。

## 日産自動車 2022年度のP/L

(単位：B JPY)

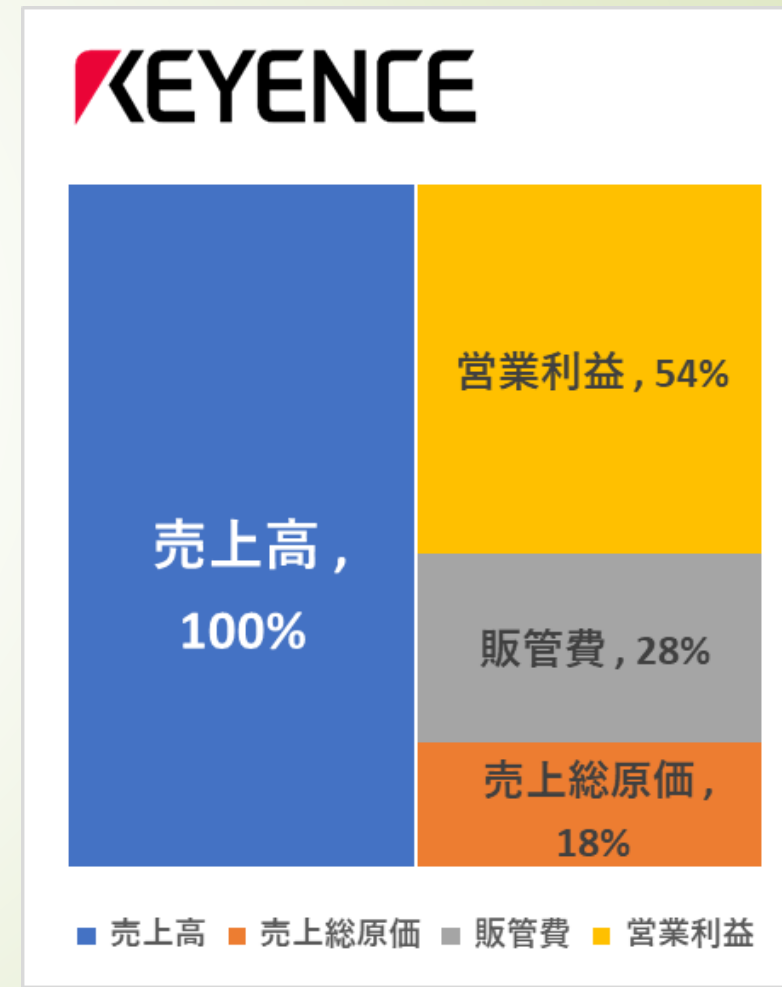
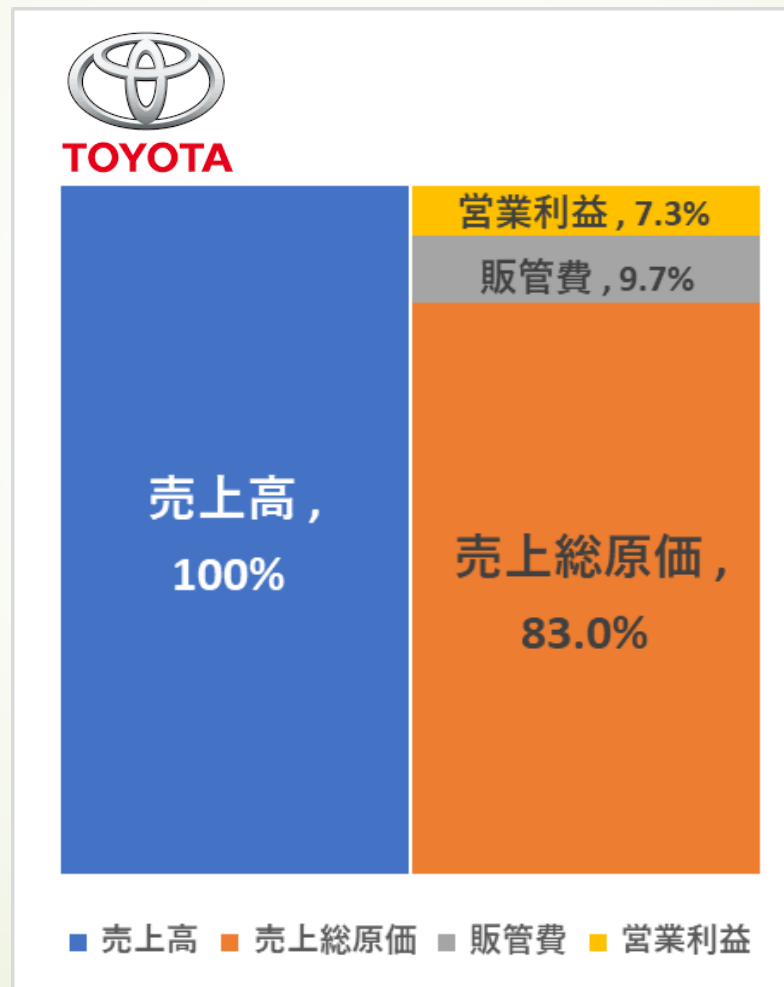
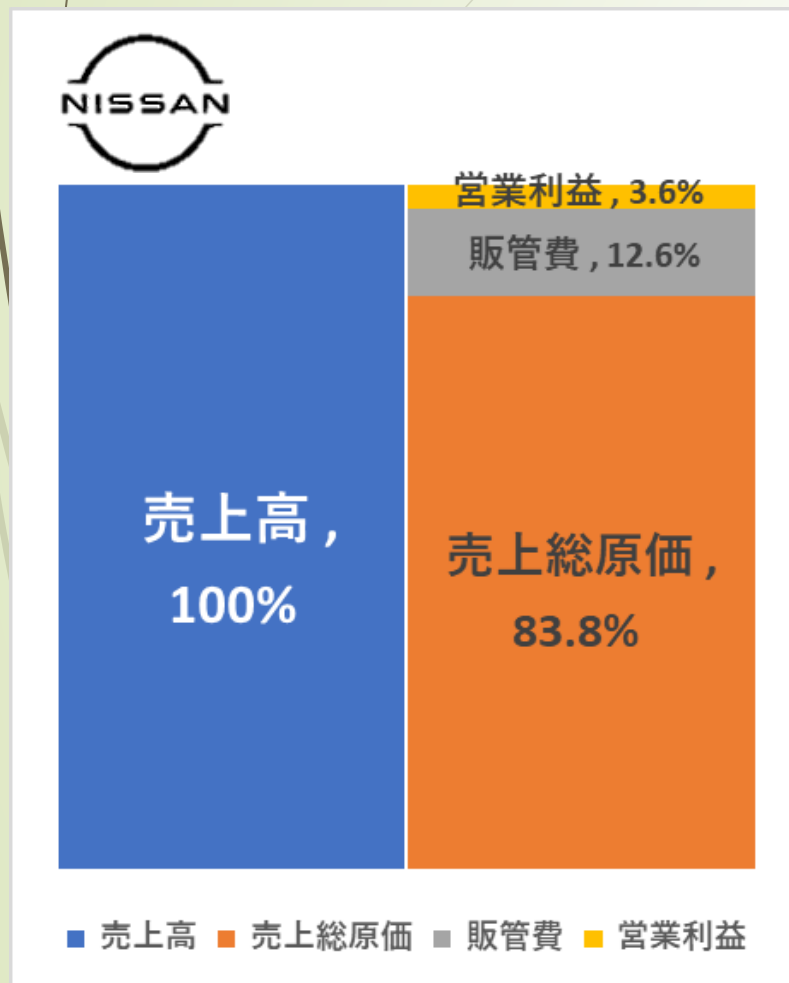


	売上高(百万円)	営業利益率
日産	10,596,695	3.6%
トヨタ	34,409,011	6.6%
本田	16,907,725	5.0%
三菱自動車	2,458,100	4.3%
スズキ自動車	4,641,644	7.6%

# 損益計算書 (Profit & Loss statement: P/L) - 日産自動車 2022年度

## 自動車業界のビジネスモデル：

自動車販売と金融(ローン)の2つ。ローン金利の利益率が高く、利益を支えている。



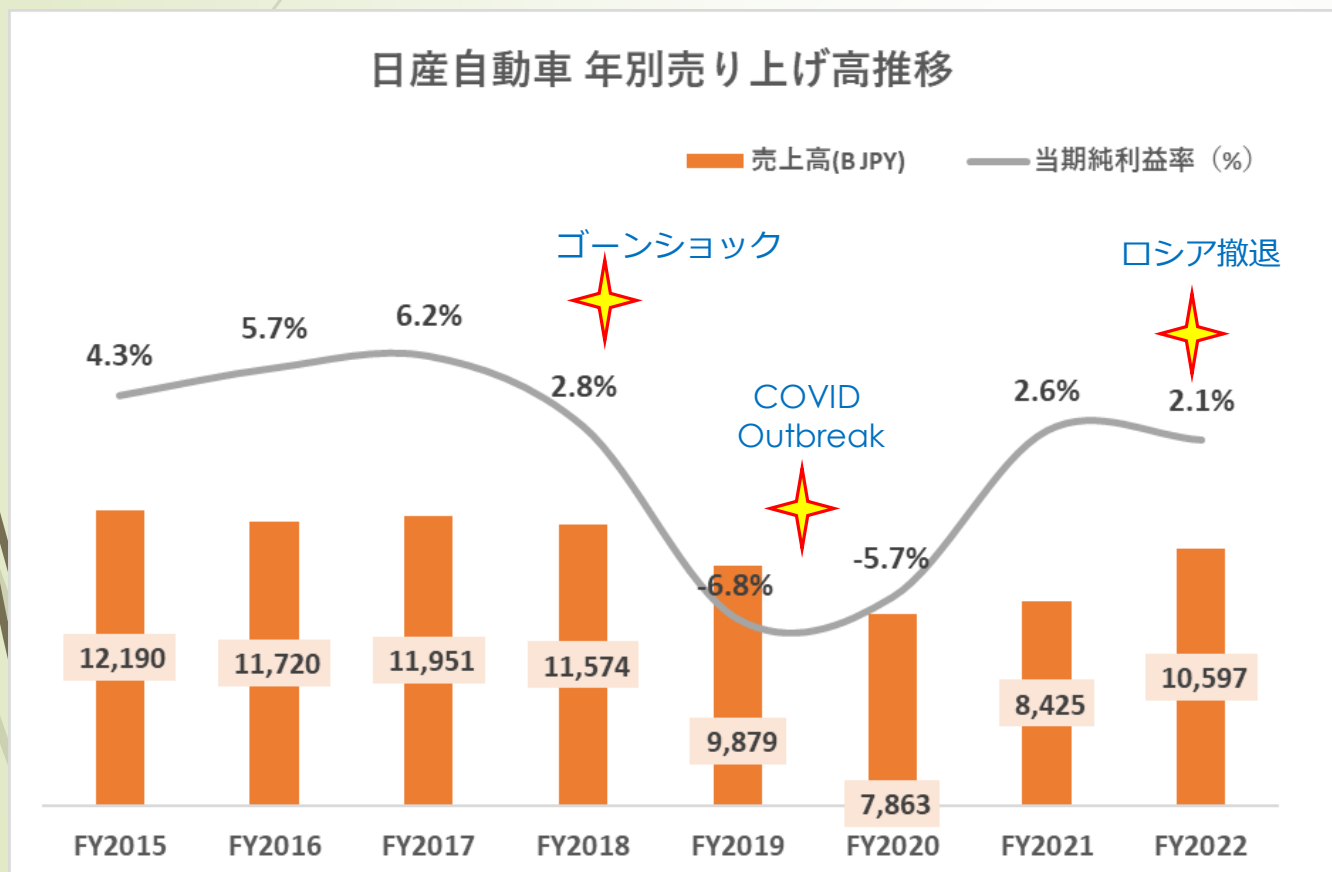
# 決算報告資料を見よう！

財務諸表からはわからない定性情報がある。

- 会社の戦略
- 国別の売上高
- P/Lの異常値の説明、など

# 損益計算書 (Profit & Loss statement: P/L) - 日産自動車 2022年度

ゴーンショック以来、台数よりも台当たりの収益を追う姿勢を表明。  
FY19/FY20の赤字からV字回復。2000年のゴーン手法を踏襲。



一台当たりの販売額 (FY22)

314万円



一台当たりの販売額 (FY15)

234万円

# P/Lからわかること

- ビジネスモデルは、伝統的な自動車メーカー。
- 台数を追わず、利益シフト戦略はある程度奏功している
- 電動化をけん引しており、強い
- 競合他社と比較すると、営業利益が低い
- リスク①：売り上げの30%を占める中国販売の激減
- リスク②：市場規模拡大に追い付かずプレゼンス減
- リスク③：固定費ビジネスの自動車は台数を追うべき？



# 貸借対照表：企業の健康チェック (日産自動車)



# 貸借対照表 (Balance Sheet: BS) - 日産自動車 2022年度

(単位：百万円)

## 日産自動車 22年度

前連結会計年度  
(2022年3月31日)

当連結会計年度  
(2023年3月31日)

資産の部	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>キャッシュの増減は必ず見る！</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,432,047	1,798,475
受取手形、売掛金及び契約資産	402,489	585,639
販売金融債権	6,274,750	6,480,605
有価証券	360,645	215,912
商品及び製品	645,620	941,687
仕掛品	83,939	90,314
原材料及び貯蔵品	634,922	671,175
その他	620,368	730,629
貸倒引当金	△138,771	△146,225
流動資産合計	10,316,009	11,368,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	599,682	625,495
機械装置及び運搬具（純額）	2,650,597	2,619,773
土地	585,217	580,651
建設仮勘定	140,056	157,648
その他（純額）	390,401	385,714
有形固定資産合計	4,365,953	4,369,281
無形固定資産	119,187	172,477
投資その他の資産		
投資有価証券	1,054,886	1,176,832
長期貸付金	7,640	12,680
退職給付に係る資産	56,491	56,106
繰延税金資産	156,553	192,191
その他	295,324	252,368
貸倒引当金	△6,959	△7,314
投資その他の資産合計	1,563,935	1,682,863
固定資産合計	6,049,075	6,224,621
繰延資産		
社債発行費	6,397	5,749
繰延資産合計	6,397	5,749
資産合計	16,371,481	17,598,581

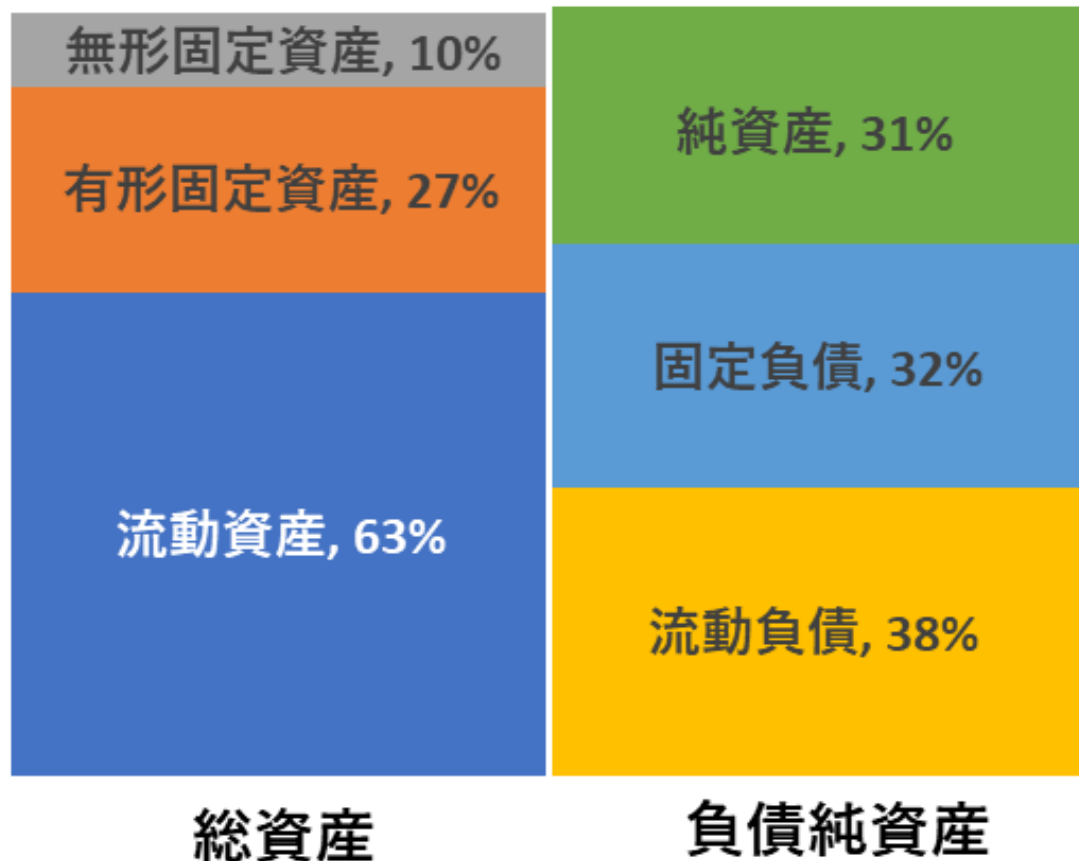
(単位：百万円)

前連結会計年度  
(2022年3月31日)

当連結会計年度  
(2023年3月31日)

負債の部	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,395,642	1,912,151
短期借入金	1,050,036	1,101,978
1年内返済予定の長期借入金	1,261,998	1,085,256
コマーシャル・ペーパー	185,705	88,000
1年内償還予定の社債	471,460	556,367
リース債務	48,395	50,061
未払費用	841,386	979,369
製品保証引当金	98,367	99,425
その他	800,219	896,719
流動負債合計	6,143,208	6,769,326
固定負債		
社債	2,263,336	2,058,096
長期借入金	1,775,221	2,013,251
リース債務	86,173	86,054
繰延税金負債	321,380	299,256
製品保証引当金	112,804	115,544
退職給付に係る負債	191,073	184,851
その他	448,702	457,063
固定負債合計	5,198,689	5,214,115
負債合計	11,341,897	11,983,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	605,814	605,814
資本剰余金	816,472	811,209
利益剰余金	3,843,479	4,047,870
自己株式	△138,061	△146,172
株主資本合計	5,127,704	5,328,721
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,428	2,893
繰延ヘッジ損益	17,230	△3,346
連結子会社の貨幣価値変動会計に基づく再評価積立金	△38,109	△51,079
為替換算調整勘定	△512,770	△111,694
退職給付に係る調整累計額	△16,882	△30,846
その他の包括利益累計額合計	△547,103	△194,072
新株予約権	—	273
非支配株主持分	448,983	480,218
純資産合計	5,029,584	5,615,140
負債純資産合計	16,371,481	17,598,581

# 貸借対照表 (Balance Sheet: BS) を比率でみる



## <自動車業界の特徴>

### 高い有形固定資産

工場やR&Dなどの大型の投資が必要で、有形固定資産が多い。

### 無形固定資産は系列会社の持ち株

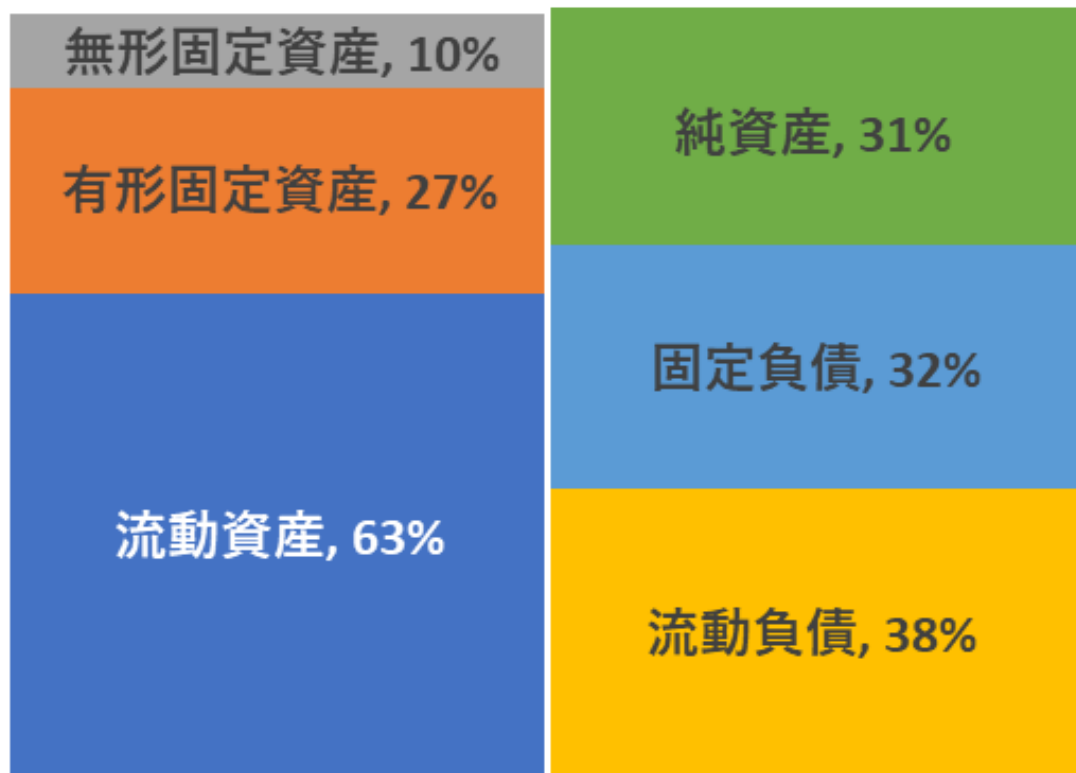
### 高い流動資産

車は高額の商品であるため、販売金融債権、つまりローンの債権が半分を占める。

### 投資費用は借り入れや社債

負債の半分は借り入れや社債。その他は借入金などの債務。

# 貸借対照表 (Balance Sheet: BS) を比率でみる

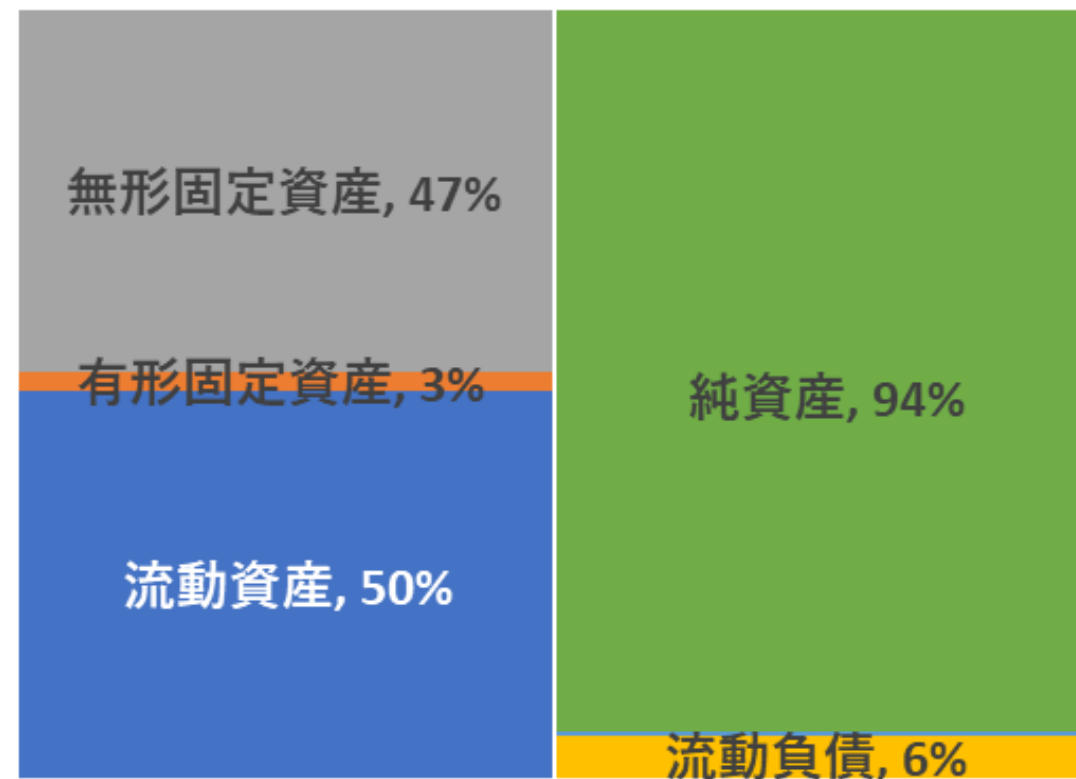


総資産

負債純資産

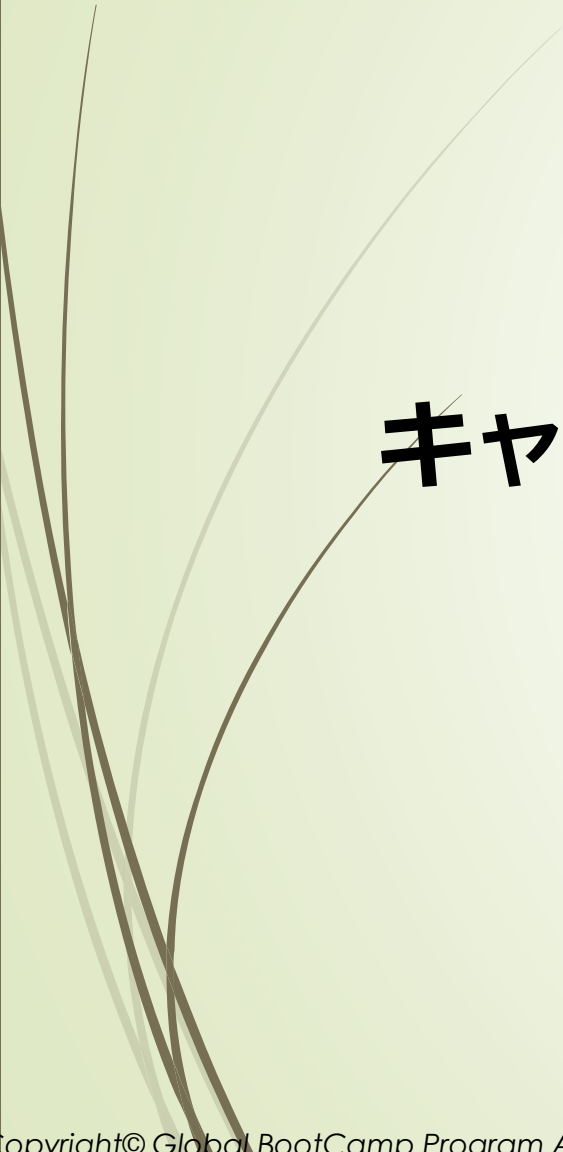


無借金経営  
ファブレス企業



総資産

負債純資産



# キャッシュフロー計算書；企業の生命線

(日産自動車)

# キャッシュフロー計算書 (Cashflow)

## キャッシュフロー計算書は、 会社の血液の流れ

まずは、3つの活動によるキャッシュフローに注目

- ①営業活動、②投資活動、③財務活動

(単位：百万円)

日産自動車 22年度	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	384,210	402,436
減価償却費（リース車両除く固定資産）	296,911	335,242
減価償却費（長期前払費用）	44,018	41,194
減価償却費（リース車両）	348,074	317,304
減損損失	16,973	8,615
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△51,771	9,905
リース車両残価損失純増減（△は益）	△42,816	△43,549
受取利息及び受取配当金	△19,957	△39,359
支払利息	174,194	206,281
持分法による投資損益（△は益）	△94,302	△171,275
固定資産売却損益（△は益）	△30,467	△17,199
固定資産廃棄損	14,463	15,115
関係会社株式売却損益（△は益）	1,252	45,569
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	140,242	△167,742
販売金融債権の増減額（△は増加）	476,338	221,475
棚卸資産の増減額（△は増加）	△12,498	△196,712
仕入債務の増減額（△は減少）	△414,416	543,424
その他	△216,314	△134,191
小計	1,014,134	1,376,533
利息及び配当金の受取額	19,943	32,902
持分法適用会社からの配当金の受取額	82,671	163,385
利息の支払額	△174,732	△198,208
法人税等の支払額	△94,829	△153,561
営業活動によるキャッシュ・フロー	847,187	1,221,051
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期投資の純増減額（△は増加）	2,795	2,209
固定資産の取得による支出	△315,202	△322,725
固定資産の売却による収入	54,639	33,968
リース車両の取得による支出	△808,684	△810,777
リース車両の売却による収入	734,703	679,146
長期貸付けによる支出	△4,787	△1,533
長期貸付金の回収による収入	1,907	3,083
投資有価証券の取得による支出	△13,803	△1,849
投資有価証券の売却による収入	169,815	310
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△9,730
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入（△は支出）	154	△30,842
拘束性預金の純増減額（△は増加）	30,091	△20,256
事業譲渡による収入	—	5,273
その他	1,537	26,682
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,835	△447,041

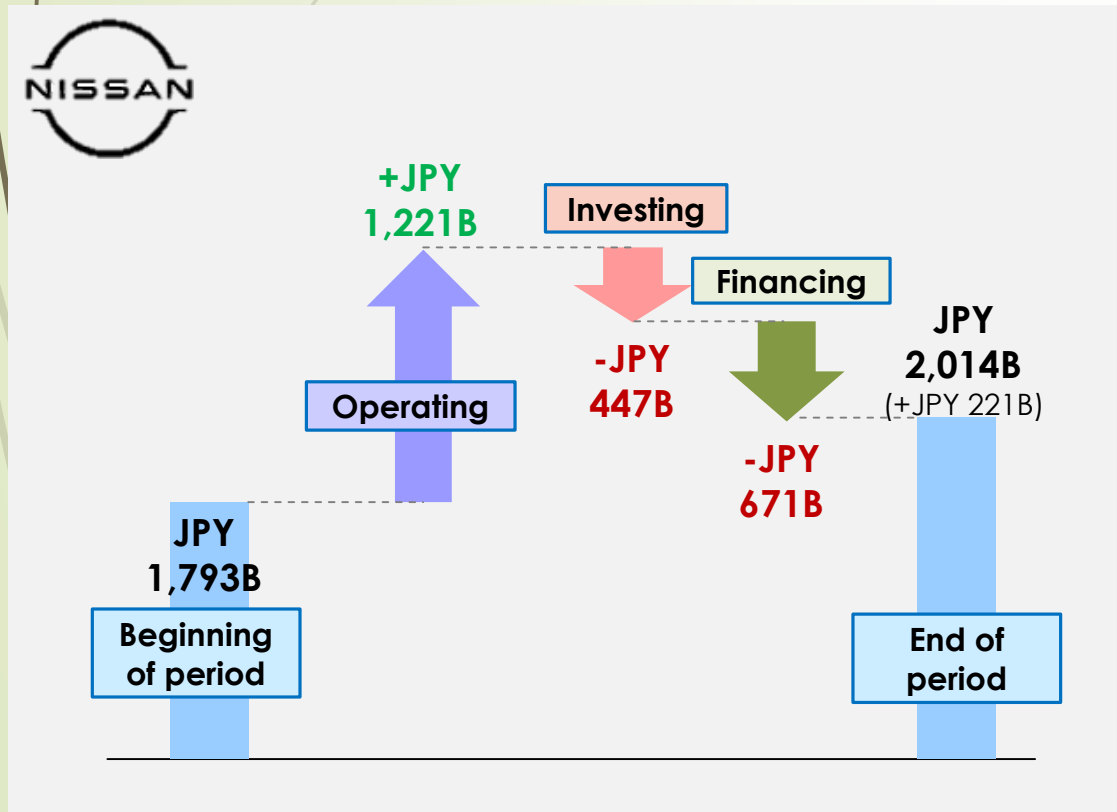
(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	120,623	△149,413
長期借入れによる収入	1,131,051	1,364,681
社債の発行による収入	478,425	199,168
長期借入金の返済による支出	△2,241,109	△1,471,738
社債の償還による支出	△524,920	△526,076
非支配株主からの払込みによる収入	5,311	1,650
自己株式の取得による支出	△2	△1
子会社の自己株式の取得による支出	—	△5,529
リース債務の返済による支出	△47,785	△55,315
配当金の支払額	—	△19,573
非支配株主への配当金の支払額	△14,239	△8,457
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,092,645	△670,607
現金及び現金同等物に係る換算差額	145,033	112,435
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△247,260	215,838
現金及び現金同等物の期首残高	2,034,026	1,792,692
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	5,926	5,857
現金及び現金同等物の期末残高	1,792,692	2,014,387

# キャッシュフロー計算書(Cashflow)を分析する

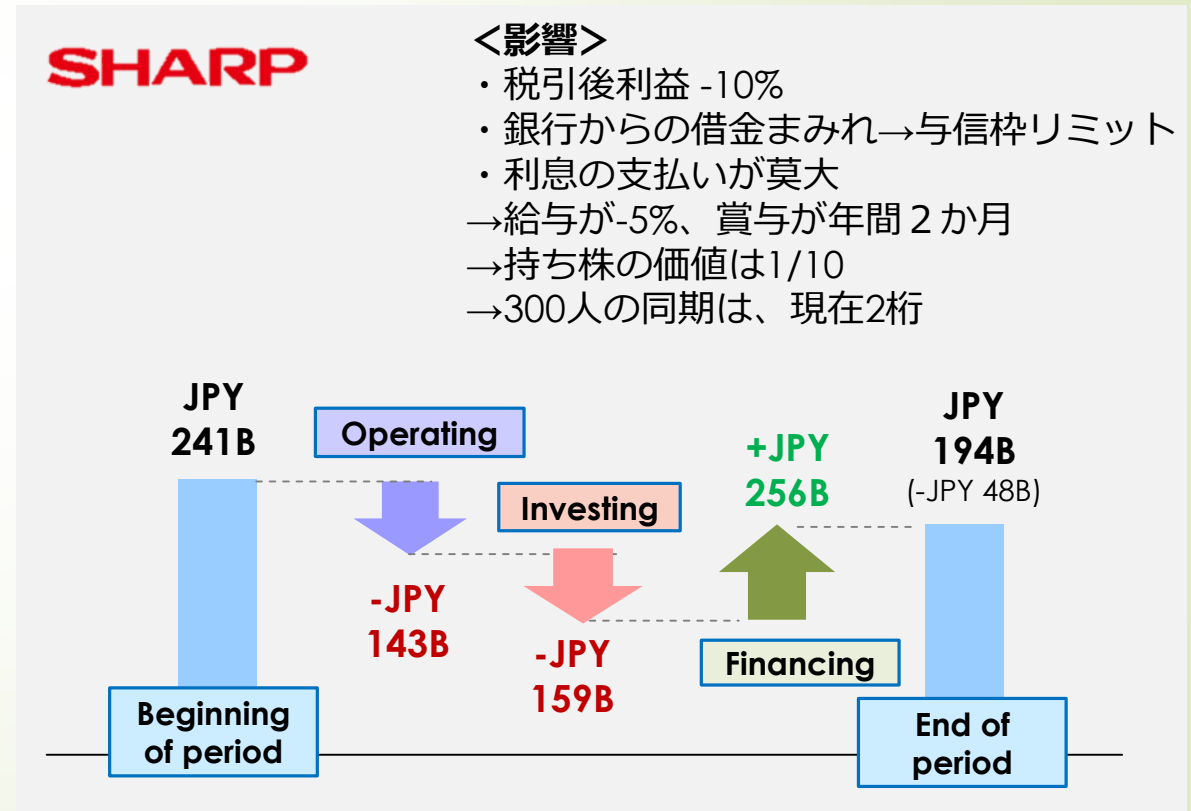
Nissanは成熟期

本業で稼いだキャッシュを、  
投資活動と借金の返済へ。



2012年のSHARPは衰退、倒産期

営業キャッシュマイナスが致命的。  
投資活動も行い、借金で賄う。



# 日産自動車の結論

- 安定して売上、利益を上げられる企業
- EVで先駆者となっており、他メーカーをリード
- 財務状況も、今のところは盤石で安全
- 中国リスク。世界シェアを大きく落としている
- CASEもゆったり進行、中国企業の攻勢。

## Recommendation

日産への転職は、今後数年は問題ないのでおススメできる。  
長期的にはリスクの方が高いため、株は一か八か。

転職活動で必要な財務分析方法を  
もっと詳しく知りたい方は、

グローバル・オンラインカフェ

「実践！転職活動で必要なIR・財務諸表の見方」

動画は[こちら](#)

パスコード: ik2i2C\$^



# グループ課題

# グループ課題について

**同業界の2社から内定をもらっているAさん。転職に迷っています。  
財務・定性分析を基に、どちらに転職すべきかアドバイスして下さい。**

## 【課題】

- ・ 同じ業界の2つの企業の財務分析のプレゼンを作成（英語）
- ・ 企業概要、過去5年間の財務状況、財務分析、レコメンは必須

## 【スケジュール】 ([homma.Masafumi@alumni.ie.edu](mailto:homma.Masafumi@alumni.ie.edu))

- ・ 10/21(土)までに、**業界と扱う2企業を連絡**(e.g. 野球球団 ヤクルト vs. ソフトバンク)
- ・ 最終プレゼンは、**10/27(金) 23:59 (JST)までに提出**

## 【概要】

- ・ 第3回講座 10/27(土)にて**プレゼン(15分)とQ&A(8分)→Negotiable**
- ・ **必ず全員プレゼンに参加すること**



**【事前課題】**

**仕分けの解説**